

## 2017年入試・合格体験記

### 酪農学園大学獣医学群獣医学類(獣医学科)合格 N君

#### 1. 代ゼミ入学期編

① 代ゼミに来る前は、生物はどんな科目だと思って、どんなふうに勉強していましたか？また生物は得意だったか苦手だったかを書いてください。それから「物理選択で全然勉強していなかった」なんて場合もあるでしょう。それならばそれを書いてください。

生物は興味のある話が多く好きな科目だったのですが、知った気になっている範囲が多く勉強にむらがありました。また、暗記が嫌で、そこから逃げてしまっていて、「好きだけど得点はとれない科目」でした。それから、高校では新課程に移行する時期が近かったせいで、生物の先生が「どこを教えてよいかわからない」と言い出す始末。進化と系統の範囲は全く授業を受けず、そのまま卒業してしまいました。そんな感じで、全体的に抜けている単元が多かったです。

#### ☆大堀のコメント

この大堀も、生物は「好きだったけれど、その割には成績が上がらない科目」でしたよ。それと、やはり抜けている部分が大量にありました。高1で習ったのが細胞から発生の単元までで、高3は「前の先生が恒常性までやったでしょう？」ってな感じで、生態系と進化の部分しかやってくれなかったし・・・

② まわりの友人たちなどはどんなふうに勉強していましたか？

高校は、集会や面談で文系を強く勧めるほど理系の受験生が少ない学校でした。当然生物選択者は少なく、さらに進学校でもないため、勉強をしている人はごくわずかでした。まわりの人の勉強法は、「まとめノート」を作ってマーカーを引き、赤シートを使っている人が多かったです。自分はその勉強方法が“ただの暗記”に思え、苦痛でやりませんでした。

#### ☆大堀のコメント

おお～、進学校じゃなかったんだ。それじゃあ理系もクソもない。そんな中でよく勉強のモチベーションを保ったね。

ちなみに、受験に関わらず、まわりの影響は大きいもの。「こうなりたい」と思ったら、同じような考えの仲間が集まるところに行くのがベストだ。

③ この時期は何大学の何学部を志望していましたか？

国立の獣医学部を狙える学力は、主要3科目だけみても到底ありませんでした。なので、私立の日本獣医生命科学大学、北里大学、酪農学園大学の獣医学部を志望していました。

#### ☆大堀のコメント

進学校じゃないわけだから、私立の獣医学部だって結構厳しいよね。さて、この先どうやって勉強を進めていったんだろう。

#### ④なぜ代ゼミを選んだのですか？

いろいろな予備校に通ったことがあるのですが、代ゼミに来る前は、某大手予備校に通っていました。ところが、学生が多いことが原因で「好きな時に自習室が取れない」など、学習環境が悪く、さらには、講師の教え方も「教科書をただ板書するだけで、あとは『暗記しろ、覚えろ』」というもので嫌気がさしました。というわけで、新しい予備校を探したのですが、ちょうどその頃、中学の同窓会がありました。その同窓会で「代ゼミに通って、大学に無事合格した」という友人に会いました。そこでの話から、代ゼミの春期セミナーを受講してみたのですが、代ゼミの講師たちによる熱の入った授業に衝撃を受けました。これまで通ったどの予備校でも感じたことがないものでした。それは今でもはっきり覚えています。そして、代ゼミに通うことに決めた一番の理由は、大堀先生の授業が楽しかったことです。

#### ☆大堀のコメント

「ただ教科書を板書するだけ」「理由の説明も何もなく、『暗記しろ・覚えろ』というだけ」の講義、あるんですねえ。というか、最近はこのやり方が増えているのかもしれない。そういう講義が嫌だから、「よし、それならこのおれがやってやる」というわけで、この大堀は予備校講師になったのですよ。

#### ⑤なぜ大堀の生物を選んだのですか？

春期講習を受講した時にまさに自分が陥っていた「どのようにどこまで暗記すればいいのか」「教科書によって数字が違う時はどうすればいいのか」など、他の予備校では全く触れないけど重要なことをたくさん学べて大堀先生の生物を1年間受けてみたいと強く思い、選びました。

#### ☆大堀のコメント

おお～、この大堀の講義で代ゼミに決定したのかあ。光栄だし、うれしい限りですね。よし、来年の春期セミナーもがんばるぞ！！

## ⑥ 大堀の講義を受けたときの、最初の印象はどうでしたか？

ハイテンションで、それから勉強しているという感覚が生じない授業だなあと感じました。さらに、暗記しようとしなくても覚えてしまうという感じがして、受験生の一番の敵である眠気が飛ぶ授業だと思いました。それまでの受動的な授業に慣れていたために、まさか講義中に当てられると思っておらず、その時はすごい緊張しました。でも、授業のあと、当てられた問題が記憶に残るので、ためになる授業だと思いました。

### ☆大堀のコメント

そうそう、大堀は講義で学生に質問をたくさんぶつけるわけですが、それは次のことを狙っているわけです。

1. 講義に参加している学生がどのくらいのレベルなのかを確認する。
2. 学生が本当に分かっているのか確認する。
3. いつあてられるかわからないので、緊張感のある講義になる(←絶対に眠くなりません)。
4. 記憶に残るようにする。
5. 受験で問われる内容を質問している。これによって「生物学的思考」が身につく。
6. 珍解答が出て面白い(←毎年毎週、楽しませてもらっています♪)

## ⑦ この時期の予習・復習はどうしていましたか？(時間配分、他の科目との兼ね合いなど)

予習はほぼしていませんでした。「次にやる範囲はどこかな？」と見ておく程度に留めておき、数学と英語に時間を使っていました。その代わり授業ですべて完結させるつもりで授業に臨んでいました。それでも曖昧さが残ったときは、その範囲だけに限って復習をしました。

### ☆大堀のコメント

すばらしい！！ そうです。生物に時間をかけてはいけないのです。理系入試は数学・英語で決まります。一に英数・二に英数・三四も英数・五に生物でいいのです。その代わり「生物は、1回1回の講義で完結させる！！」、なんと素晴らしい勉強スタイルでしょう。

## 2. 1学期編

### ① そろそろ大堀の講義にも慣れてきたころ。大堀の講義をどのように感じていましたか？

とにかく授業が楽しかったです。最初当てられるのが嫌だったのですが、正解すると嬉し

くなり、不正解だと「それがなぜなのか？」と考えました。他の授業にはないくらい“考える授業”で、熱中していました。

今まで受講してきた生物の授業では、「なぜそうなるか」という解説もなく、ただ「暗記しろ」と言われていた単元が多くありました。ところが、そういうところは、教科書の範囲を超えてでも丁寧に深く解説してくれたため、生命現象の流れがわかり、暗記しやすくなるのを実感しました。代謝の範囲では、呼吸と発酵の勉強する順番を一般的な教科書に載っている順番と逆にすることでより理解が深まり、「先生は、授業の流れをとっても研究しているなあ」と感じました。

### ☆大堀のコメント

「なぜそうなのか？」がわかると、生物に関わらず楽しくなるものですよね。さらにいいことに、楽しくなれば自然に覚えてしまうものです。

講義の流れは研究していますよ〜。楽しくて良い講義かどうかは“流れ”で決まります。それにしても、生物の教科書はどうして呼吸の後に発酵の解説なんでしょうね。わかりやすさの点から考えても、進化の過程から考えても絶対逆でしょうに・・・ねえ。

### ② この時期はどのように生物を勉強していましたか？

生物が好きになりすぎて、気づけば生物図表を開いてしまう、そんな感じになってしまいました。生物に時間を使い過ぎてはまずいので、次のように勉強しました。まず、普段はハイレベル生物の問題演習の予習をし、暗記しなければいけないものをノートに書き出しておきました。そしてそのノートをたまに見返す程度にするようにしていました。それから、授業でまだ習ってないところなどが模試で出題されたときは、生物図表で確認などしていました。

### ☆大堀のコメント

そうなんです。好きになると、その科目ばかり勉強してしまいそうになりますよね。それをうまく回避していますね。

ところで生物にも「問題演習」の講義があります。生物に時間をかけてはいけないのですが、「問題演習」に限っては予習をしましょう。でも、この際も、まずは英数を終わらせてからにしましょう。それから、わからない問題があったら、それに時間をかけすぎないようにしておきましょう。

### ③ 生物の成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

代ゼミに入る前はずっと偏差値 45 程度で、平均点もとれない程でした。ところが、だん

だんと知識がつき、夏に入るところには 55 程度になりました。

#### ☆大堀のコメント

うんうん、“大堀”の効果が徐々に出てきたみたいだね♪

### 3. 夏期編

- ① 夏期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

「大堀求の生物(腎臓、生体防御、神経、個体群、相互作用)」と「大堀求の生物(生態系、進化、系統分類)」をとりました。これは、大堀先生の授業中に「二学期の予習になる」と聞いたからです。また、夏は苦手科目を思いっきりやろうと決め、生物は講習だけで済ますことにしました。

#### ☆大堀のコメント

好きな科目というものは、良い師に出会えば、放っておいても成績は上がっていくものです。それが実感できているのなら、「講習だけで済ます」というのも当然アリです。

生物は、夏の間全範囲の基本的な知識は頭に入れておくべきです。ところが、独学ではやりにくい単元が多いことも事実。例えば「免疫」「神経」「進化・系統分類」「生態系」なんかがそうですね。こういう単元の勉強は、夏期講座「大堀求の生物」で、手早く済ませてしましましょう。

- ② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

夏は、「1学期のノートの見直し」と「夏期講座の復習」を1度だけやりました。生物にかけた時間は少なかったですが、その分しっかりとやりました。また、そのとき、曖昧だったり不安だったりした部分は、ノートに書き出しておきました。

#### ☆大堀のコメント

かける時間は短く、でもその分しっかり集中してやる。いい勉強スタイルですね。

- ③ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

1学期の復習や夏期講座などが功を奏したのか、マーク模試で偏差値 69.6 が出ました。今までの自分では考えられないほどの数字で、とても自信がつかしました。

### ☆大堀のコメント

きた～！！ 偏差値 69.6！！ そうそう、講義が自分にうまくはまればこういう結果が出るのです。しかも、生物にはそれほど時間をかけていない。とても効率よく勉強できていますね。

## 4. 2学期編

### ① 夏期の学習が2学期にどのように影響を与えましたか？

夏期講習のおかげで、予習が全く必要なく、復習もほとんど時間をとられなくなりました。2学期の授業自体が復習になっており、夏期講習を受講してよかったと思いました。

### ☆大堀のコメント

そうそう、夏期講習で「大堀求の生物」を受講しておけば、2学期は楽なのです。そうして、その空いた時間で英数・苦手科目をやるのです。いい調子で勉強できていますね。

### ② 2学期の範囲の学習と1学期の範囲の学習の兼ね合いはどうでしたか？

1学期にやったけれど、時間が経って曖昧になってる範囲はしっかり覚え直しました。また、2学期の授業は全力で取り組み、授業だけで完結できるように努力しました。

### ☆大堀のコメント

「授業だけで完結する」、素晴らしいですね。

### ③ 夏期講習講座の復習はどうしましたか？

夏期の講座はテキストに書き込む形式でした。そこで、テキストを手の届きやすい場所に置いておき、気になったときにその都度復習していました

### ☆大堀のコメント

なるほど、大堀のテキストにはそういう使い方もあるんだねえ。

### ④ センター試験対策はどうしたか？ いつ頃始めましたか？ また、どのようなことをしましたか？

センター試験対策は、英数の通常授業の予習復習に追われ、なかなかはじめられませんで

した。生物の対策を本格的に始めたのは10月くらいです。生物は大手予備校の出す予想問題集数冊と、過去問3年分くらい(傾向が変わり過ぎない程度)をやりました。

#### ☆大堀のコメント

10月、そろそろセンター対策も考え始めなければいけませんね。しかも、通常の英数をこなしながらですから、より大変になってきます。人にもよりますが、12月には本格的に取り組む始めるべきでしょうね。

⑤ この時期の成績の推移はどうでしたか？ 模試の成績など。このころ感じた不安などはありましたか？

8割程度は安定してとれるのですが、そこから上へはなかなかいきませんでした。知っている知識問題でも、読み違いなどで落としてしまうなど、点数が伸び悩んでいました。そこで、大堀先生に相談したところ、演習不足ということがわかりました。たしかに問題集をこなすことよりも、図表やノートを見直す勉強が主体でした。足りなかった部分がはっきりとし、伸び悩みの原因がわかりました

#### ☆大堀のコメント

そうなんです。やはり問題をある程度は解かないといけません。例えば空手でも、技を習うだけでは限界があるわけです。やはり実際に相手と戦って(=組手)みなくてはなりません。同じように、講義で習得した“技”を、模試などで実際に使ってみなければ、本物の力にならないわけですね。

### 5. 冬期編

① 冬期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

私立大の一般試験で求められる高度な考察問題に対応するために、考察問題の演習がメインの「大堀求の生物」という講座をとりました。

#### ☆大堀のコメント

冬期講習会I期の「大堀求の生物(センター試験：実験考察対策)」は、センター試験の考察問題対策なのですが、もちろん私大・国公立2次試験の実験考察問題対策に使えます。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

演習問題で解けなかった問題の範囲だけを復習していました。

#### ☆大堀のコメント

うん、生物はそんなもんでしょう。いや、というより、英数が忙しくてそのくらいしかできないよね。

#### ④ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

あまり得点のはびず得点率9割台がなかなか達せず、歯がゆい思いをしていました。

#### ☆大堀のコメント

そうなんだよね～、8割台までもってくるのと、そこから9割台に持っていくのは全然違うわけ。とにかく努力と時間がかかる。頑張れ！！

#### ⑤ センター試験の対策はどうしていましたか？

センター試験の対策は、私大の一般試験の対策にもなると先生に言われ、たくさんこなすようにしていました。でも、知識問題で間違えることはほとんどなくなったので、生物は控えめにしていました。とにかく、苦手科目の数学を優先しました。

#### ☆大堀のコメント

そう、数学優先ね。いい調子。

### 6. 直前期編

#### ① 1・2月の生物の学習はどうしていましたか？

センター試験が終わるまではセンター試験の勉強のみでした。そのおかげか、センター試験で英語の筆記、リスニング、生物の3つで過去最高点がとれました。生物は、2問ミスしただけで、95点でした。これは、平均点すらとれなかった自分には考えられないほどの成長です。滑り止め大学の合格圏内に余裕で入ることができ、満足のいく結果が得られました。その結果、モチベーションが高いまま自信を持って私大対策に取り組みました。この時期には、制限時間内に余裕をもって解けるようになっていたので、解き終わった後にしっかり見直しをする癖をつけるようにしました。

#### ☆大堀のコメント

来ました～、過去最高の95点！！ しかも英語も過去最高。やりましたね。センター試験でいい結果が出ると、そのあとの勉強がまた違ってくるんですよね～。そう、モチベーシ

ヨンが全然違う。「そのまま突撃〜!!」って、イケイケモードになれるんですよね。そうになると、あとはもう勉強が全く苦ではなくなるわけです。逆にセンターでぼろぼろになると・・・考えたくありませんね。センター試験を甘く見てはいけません。

## ② 何大学の何学部を受験しましたか？

北里大学、日本獣医生命科学大学、日本大学、麻布大学、酪農学園大学の獣医学部を受験しました。

### ☆大堀のコメント

よし、もう決まったな。がんばれ!!

## ③ 受験の前日・当日にやったことは？

前日はまとめたノートを見直す程度で早く寝ることを心がけ、当日も模試の直前と同じく不安な箇所の確認程度に済ませてリラックスするようにしていました。

### ☆大堀のコメント

試験が近づいてきたら、なるべく試験時間に合わせた生活リズムに変えていこう。特に夜型になってしまっていた人、試験は午前中〜夕方にかけておこなわれますよ〜。この時間帯に最高のパフォーマンスを引き出せるように、自分の体のリズムを整えておきましょう。

## 7. その他

### ① 受験校・学部が決定したのはいつごろですか？

現役のときは受験した大学はすべて不合格で、いわゆる F ランといわれるボーダーフリー表示の大学まで落ちてしまいました。そういう経験もあって、浪人するなら目標は高く設定しようと、夢だった獣医になるため獣医学部を志望しました。

### ☆大堀のコメント

よし、獣医学部はもう夢ではない。手の届く範囲に入ってきた。あともう少しだ。頑張れ。

### ② スランプになった時期はありますか？またそれをどういうふうに克服しましたか？

夏から秋の終わり頃までは、知識で解けるはずの問題でも読み間違いや勘違いで落としてしまい、点数が伸び悩んでいました。演習量をこなすことで丁寧に文章を読む癖や見直しをする癖をつけて克服しました。

### ③ ストレス解消法などありましたか？

音楽を聴いたり気分転換に映画を見たりしていました。代ゼミでできた友人と会話するのも眠気がとれてとてもよかったです。

#### ☆大堀のコメント

友達と会話すると、たしかに気分転換になるんだよね～。やはり、しゃべるっていうのは脳みそが活性化するんだな。でも、気が付くと「あっ、もう1時間も経ってる～」なんてことも……。気を付けていきましょう。

### 8. 大堀の講義は今、大学でも役立っていますか？それから後輩たちへの応援メッセージなど。

高校では進学校でもないのにクラス最下位、学年でもほぼ最下位。そんな自分が、大学では他人に頼られ、教えることができるまでになりました。これは、大堀先生の教えてくれた「イメージで覚える」「知識と知識を合わせて新しい知識を作る」などの技によるところが大きいです。大学内の成績もトップで、本当に代ゼミに入ってから人生が180度変わりました。生理学など、生物で習ったことがそのまま大学でも出てきて、その度「大堀先生はこう言っていたな」と授業を思い出します。大学に入ってから特に改めて復習したわけでもないのにはっきり覚えてるのは、授業が印象的だったからだなと思います。

自分はいろいろな予備校をみて、いろいろな生物の授業を受けてきました。でも、ここまで自分に合い、楽しくかつ結果に繋がる授業はないと思いました。どの生物の授業をとるか迷っているなら、大堀先生の授業を一度は体験することをすすめします。授業中に大堀先生が質問してきたことは本当に重要で、本番の試験でおもしろいくらいにその部分が出題されます。そのあまりの的中率に、試験中に笑ってしまいそうになるほどでした(笑)。春期セミナーの数十分の授業だけでも、「今まで習った生物の先生とは違うな」とはっきりわかると思います。先生に一番近い席で1年間ついていって本当によかったです。ありがとうございました。

#### ☆大堀のコメント

そうなんだよね。大堀が授業中に学生にぶつける質問、本当に的中するんだなあ。というか的中を狙って質問の内容を考えているんだけどね。

合格おめでとう！！ 立派な獣医さんになってね♪